

平成 30年 11月 9日

日光市議会議員 齋藤伸幸様

日光市議会議員 荒川礼子

## 議員派遣報告書

目的 (会議等の名称)	よくわかる！市町村財政分析基礎講座
会議等の 主催者の名称	NPO 法人多摩住民自治研究所
場 所	名称等：たましん RISURU ホール 住 所：立川市錦町3丁目3番20号
期 間	平成 30年 11月 6日（火）～平成 30年 11月 7日（水）
会議等の内容	別紙資料のとおり
会議等の 所感・成果等	<p>この講座は、一般的にはわかりにくい自治体の財政の基礎を学ぶものです。まず、講座に参加する前に、自分の自治体の決算カードや、総務省が出している財政状況資料集、類似団体比較カード、地方交付税算定台帳など経年分の資料を用意し、実際の資料を基に自分の自治体の財政分析を演習しながら学んでいきます。自治体が出している広報誌や、予算・決算時の資料の他に、全国統一のフォーマットで作られている資料などから、経年的な視点で見ていくことが必要であり、また、県内の類似団体や、同規模の自治体と比較することで自分の自治体の財政をまず正確に知ることが必要であるとのことでした。</p> <p>特に、自治体の財政となると、膨大な資料のどこをどう見</p>

れば、財政状況がつかめるのか、一見わかりにくいものです。また、市民の皆さんからすれば、自分のまちは、おカネがあるのか無いのか、借金がどのくらいあるのかなど簡潔に知りたいところでしょう。そうした、誰にもわかりやすい財政情報の透明性が高まるほど、財政の効率が向上したり、財政危機のリスクが小さくなるとの指摘もありました。

夕張市の財政破綻を機に財政健全化法が制定され、10年が過ぎ、自分のまちの財政がどうなっているのか、健全化が進んでいるのかなど自治体の財政を正確に読み解くには、膨大な資料や独特の用語、数字にまず慣れることが大切であるとの講師の指導のもと、2日間有意義な研修ができました。よく、決算より予算が大切と聞くが、実は決算にこそ大切な情報がすべて記載されており、来年度の予算に連動させる質疑をすることで市民福祉の向上や市の財政運営のチェックをきちんとすることが大切であり、そうした分析の仕方を学べたことは、今後の議会活動にも活かせるものと感じました。更に財政運営の堅実性や、財政構造の弾力性、そしていかに、住民のニーズに応え、行政水準の向上や満足度を確保できるか等の視点で財政運営を分析する時に類似団体と比較することで、当市の財政運営の特徴を捉えたり財政指標の改善に向けた取組みや可能性が期待できるなど大変参考となりました。